

集えなくても繋がりを続ける活動へ

WATの会登別子ども食堂



WATの会登別子ども食堂では、これまで地域の子どもや多世代（高齢者や主婦、高校生など）が食を通して交流できる地域の集いの場を登別中央福音教会（中央町）を拠点に行っていましたが、新型コロナウイルスの影響で、これまでのような集いの場を開くことが難しくなっていました。

昨年の緊急事態宣言が解除された頃、地域でも徐々に活動が始まり、会としても「いつも参加してくれている人達との繋がりを絶やさないためにも活動を再開していこう」そんな思いがありましたが、現段階では、集うことでの感染リスクがあることから別の手段を考える必要がありました。

そんな中「集うことはできなくても、3密を避けてお弁当をテイクアウトするような形で、実施できないだろう」そんなアイデアから、これまでとは違う方法で、集いの場に来てもらうよう実施しました。

テイクアウトを始めると集いの場に多くの参加者が時間を分けて訪れ、何気ない会話を通して近況の確認もでき、参加者からは「美味しそう」などと喜ばれました。

活動をふりかえって「今後もコロナの状況を踏まえて会員同士でアイデアを出しながら様々な人が繋がれるよう続けていきたい」と話されていました。

屋外でテイクアウトしている様子



テイクアウト用の食料を袋に詰め込む活動をしている様子



調理や盛り付けをしている様子

